

暮らしの中を流れる  
狩野川



伊豆・天城を源流に駿河湾に注がれる狩野川。本州太平洋側で唯一北流する全長約46キロの大型河川です。市街地を悠々と流れる狩野川の姿は、千本松原や御用邸記念公園と並んで、沼津の代表的な風景といえるでしょう。黄瀬川と合流する辺りから活気あふれる沼津港まで、川岸には歩道や散策路が整備され、通勤・通学の時間帯には多くのビジネスマンや学生たちが行き交います。

あゆみ橋近くの右岸階段堤周辺には、水辺空間を活用したオープンカフェやクラフトビルを楽しめるお店があり、昼は雄大な狩野川の姿と行き交う人々の姿が見られ、夜には市街地のあかりが川面に映る都会的な雰囲気を楽しめます。所々に設置されているベンチに腰を掛け、ゆっくりと時間を過ごすのも良いですね。

夏の風物詩、狩野川花火大会や季節限定で運航される我入道の渡し船、こいのぼりフェスティバルなど、四季を通して様々なイベントが狩野川を彩ります。また、整備された歩道や橋を舞台に、かがわハーフマラソンやスイーツランなども開催されており、毎年市内外から多くの参加者が集います。全身心地よい川風を感じながら、日常的にも多くの人々がジョギングやサイクリング、散歩などを楽しんでいます。

市民に親しまれ、愛されている沼津の宝、狩野川。「狩野川があるライフスタイル」は、今日も私たちの暮らしに潤いと安らぎを与えてくれます。